

地域のデジタル実装を支える マイナンバーカード利活用拡大 等に向けて

2023年（令和5年）3月31日

第12回デジタル田園都市国家構想実現会議

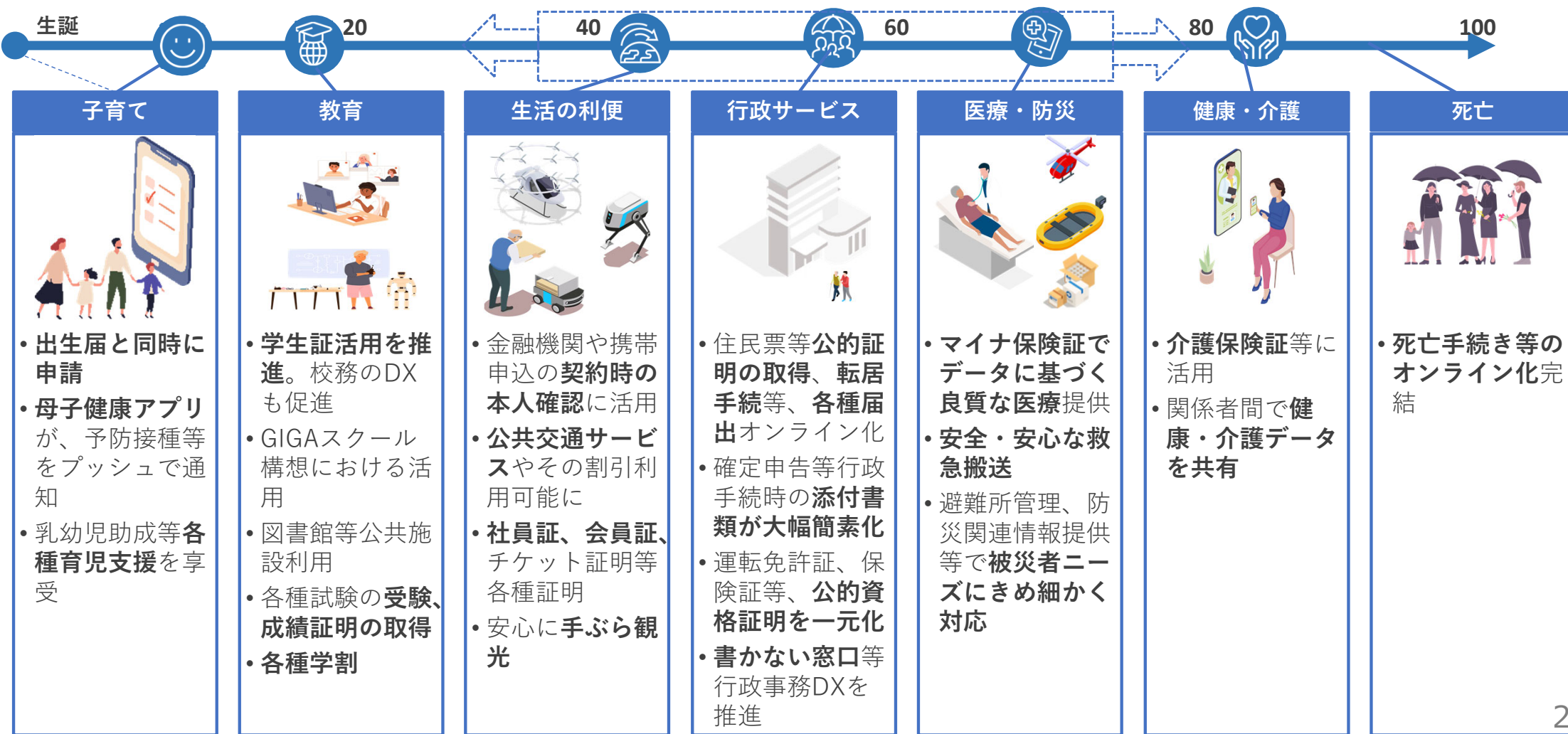
デジタル大臣 河野太郎

デジタル庁

マイナンバーカード利用サービスの横展開加速化

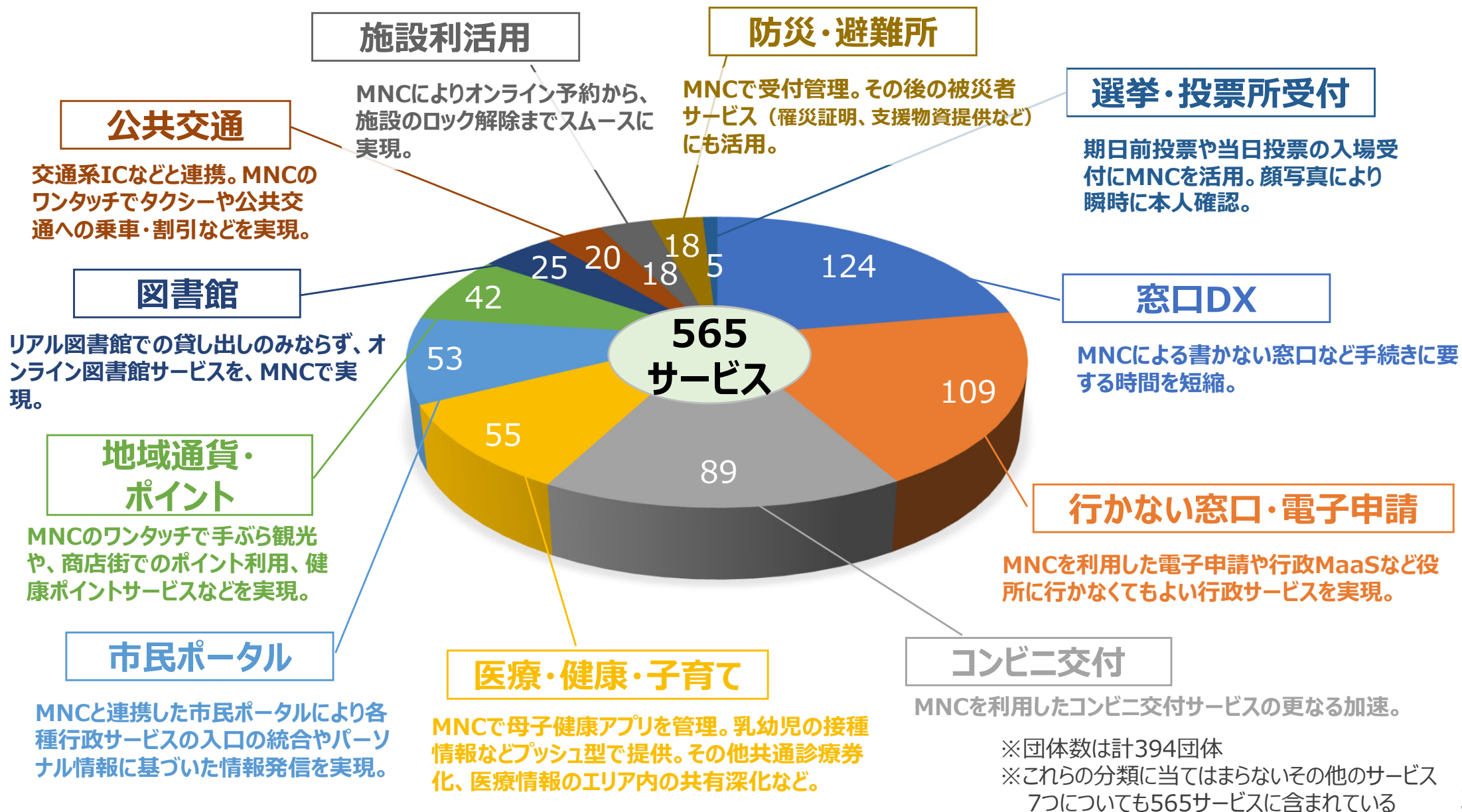
マイナンバーカードの利活用拡大に向けて

- 今後、我が国は、一生涯どこで暮らしていても、教育から生活、医療に至るまで、デジタルの力で便利で安全な先端サービスが提供されるデジタル社会への移行の加速化を図る。
- そのパスポートとなるマイナンバーカードの本人確認・証明機能を、**生まれてから亡くなるまで全国民が活用できる国民インフラとして普及**させるとともに、**各府省の施策を総動員**して、マイナンバーカードの利活用拡大と利便性の向上を図る。
- このため、**関係省庁に所管分野における支援の強化を要請し、マイナンバーカードの利活用促進プラン**をとりまとめる。



デジ田交付金により新たに生まれるマイナンバーカード利用サービス

- 本年3月10日に採択結果を公表したR4補正デジ田交付金デジタル実装タイプにより、2023年度中に565のマイナンバーカード利用サービスがスタート。



優良事例を支えるサービス／システムの横展開の加速化

- ①主要分野ごとに優良事例を支えるサービス／システム（ベスト・リファレンス）をカタログ化
 - ②ベスト・リファレンスを調達するための標準的な要件・機能を整理
 - ③DMP（デジタルマーケットプレイス）を連携・活用
- の3つのステップにより、マイナンバーカードを活用した優良な事例の横展開を加速。

優良事例を支えるサービス／システムのカタログ化

（2023年夏を目途に第1版公表）

Step 1

主要分野で、優良事例を支える、当面ベストと思われるサービス／システム（ベスト・リファレンス）をカタログ化（第1版では、マイナンバーカードを活用したサービスを優先的にカタログ化。それ以外についても順次取り組む）。

- 自治体は必要なサービス／システムを迅速に検索し、簡便に入手できるようになる
- 各地域における導入検討に資するよう、導入実績、導入に要する期間・コスト等も見える化

ベスト・リファレンスを調達するための標準的な要件・機能を公表

（2023年末を目途に公表）

Step 2

主要サービス分野ごとに、ベスト・リファレンスの調達時に必要となる標準的な要件・機能を整理。

- 地域ごとにバラバラのデジタル実装を回避。地域間の相互運用性の確保なども担保
- これらを採用しようとするエリアに対する、横展開支援策についても検討
- オープン原則を徹底し、ベンダーロックインを回避

DMP（デジタルマーケットプレイス）を連携・活用

（2024年以降の連携を目指す）

Step 3

将来的には本年4月から実証予定のDMPと連携。

- 各自治体における導入手続きの迅速化・円滑化を推進

(参考) 優良事例を支えるサービス／システムの横展開の加速化 (補足)

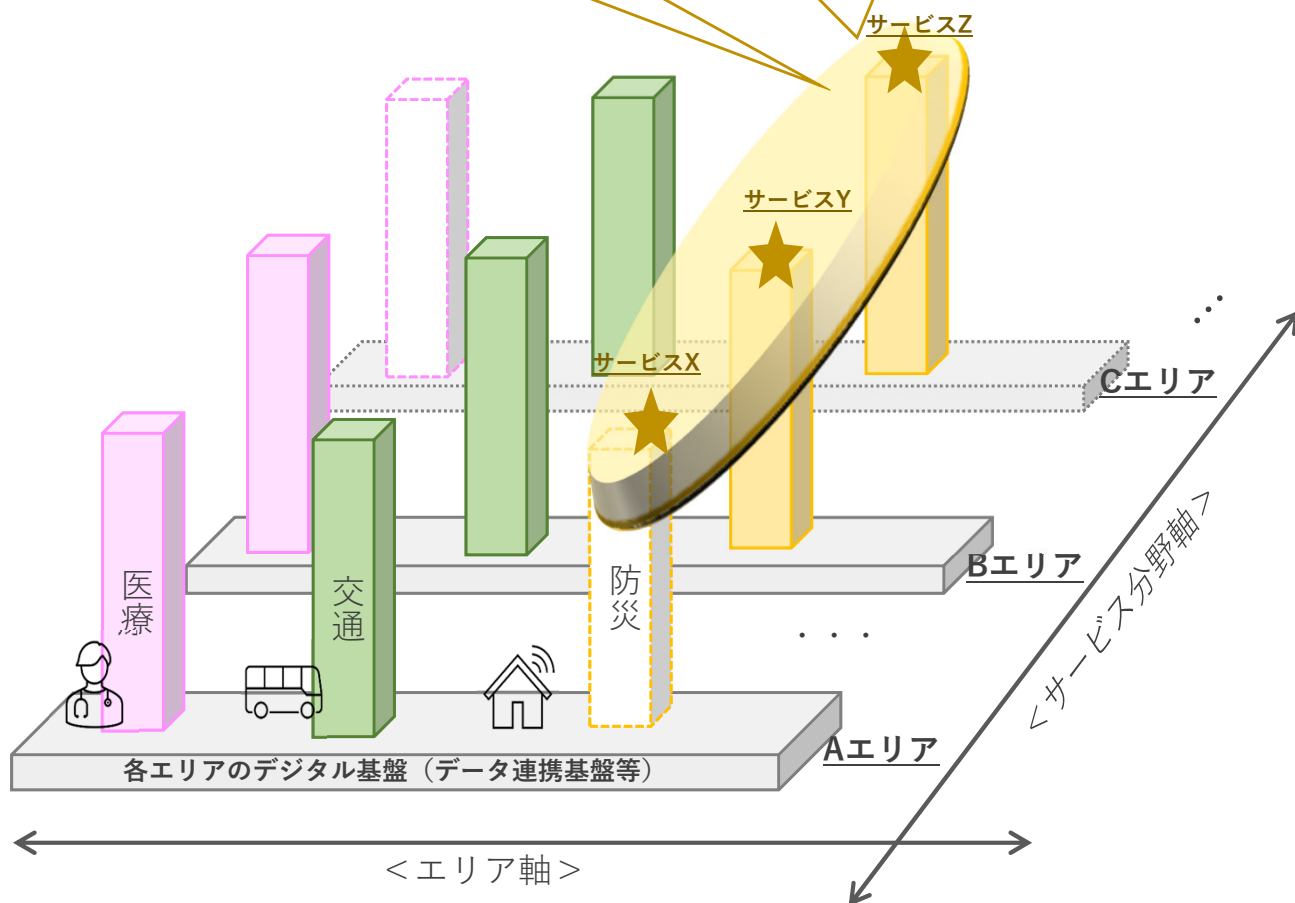
<デジタル実装サービスの横展開の進め方>

Step1 : カタログ化

Step2 : 調達要件の整理

Step3 : DMPの導入

国は、様々なエリアでの、こうしたベスト・リファレンスの調達・採用を支援！

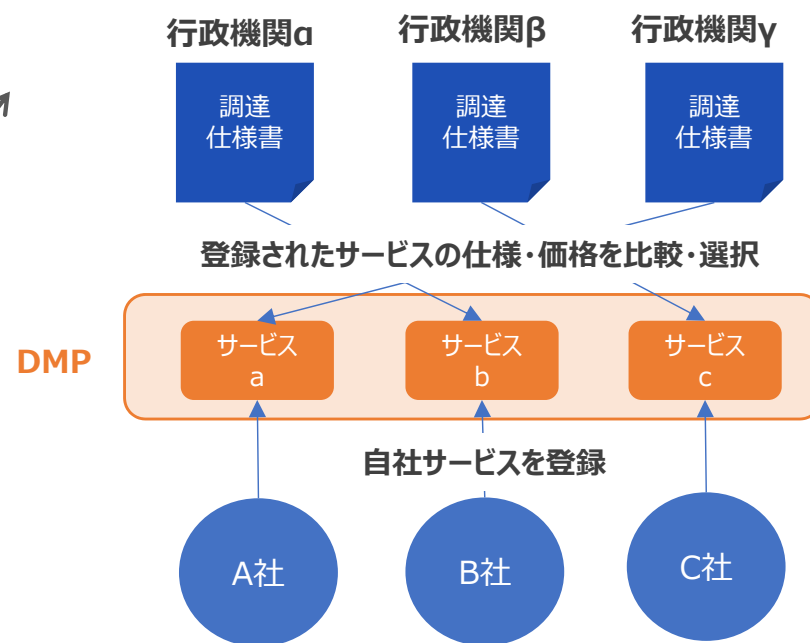


<デジタルマーケットプレイス (DMP) >

行政機関がカタログ上に登録されたサービスの中から調達仕様に対して最も適切なものを選択・契約

→ 調達期間を短縮し、官民双方で調達を簡素に

→ また、市場の透明性を高め、スタートアップの参入も促進



優良事例を支えるサービス／システムのカタログ化

◆カタログ化するサービスのイメージ

まずは以下のような分野を想定（対象分野は順次拡大）

- ・避難所や投票所、公共施設での受付管理等
- ・地域公共交通におけるマイナンバーカードの利用
- ・マイナンバーカードを活用した母子健康アプリ など

◆サービスカタログのイメージ

個別具体のサービスについて、サービス概要、導入手続、導入実績等を紹介

サービス概要

サービス名	●●サービス
サービス分類	公共交通
サービス概要／特徴・優位性	●●するもの
マイナンバーカードの利用方法	都度カードをかざして認証
サービスURL・問合せ先	

導入手続

価格	●●万円～
無料トライアルの有無	有
導入に要する期間・サポート	約1ヶ月（サポートあり）

自治体での導入実績

導入自治体数	●●
主な導入自治体	●●市、××市

窓口DX ・書かない窓口など行政窓口でのマイナンバーカードの活用	行かない窓口・電子申請 ・電子申請や行政MaaSなどのマイナンバーカードの活用	コンビニ交付 ・マイナンバーカードを利用した証明書等のコンビニ交付サービス	医療・健康・子育て ・マイナンバーカードを活用した母子健康アプリ
市民ポータル ・マイナンバーカードと連携した市民ポータル	地域通貨・ポイント ・地域通貨やポイントサービスでマイナンバーカードを活用	図書館 ・図書館カードや電子図書館におけるマイナンバーカード利用	公共交通 ・地域公共交通におけるマイナンバーカードの利用
施設利活用 ・公共施設での受付管理にマイナンバーカードを活用	防災・避難所 ・避難所管理、防災関連情報提供等でマイナンバーカードを活用	選挙・投票所受付 ・投票所での受付管理にマイナンバーカードを活用	その他 ・その他の分野でのマイナンバーカードの活用

(参考事例) 既に公開した防災DXサービスマップの概要

- 災害のフェーズごとに、どのようなサービスがあるか、一目で分かる。
- 自治体への導入実績、導入に必要な価格及び無償トライアルの有無なども分かる。
- 今後、防災DX官民共創協議会で議論を進め、マップの利便性を高めるとともに、優れたアプリの開発を促進する。

防災DXサービスマップ

災害のフェーズに応じた、災害対応の場面を設定

経緯

防災DX官民共創協議会での議論の参考とするため、防災の現場で活用できるアプリやシステム等について、昨年10月から公募。

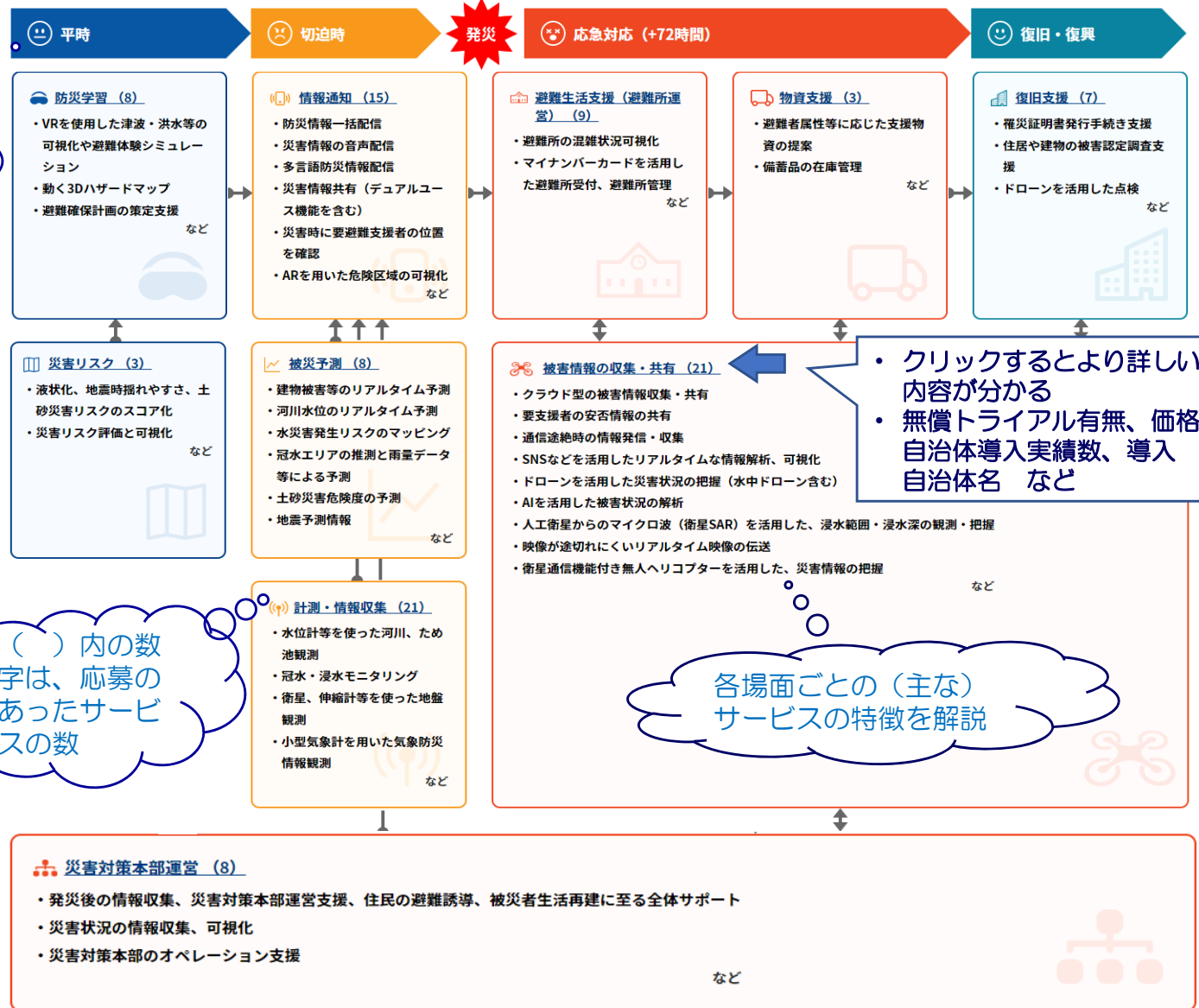
その結果、100件を超えるアプリやシステム等の応募があり、これらについて、自治体等の現場が迅速に検索し、簡便に入手するためのツールとして使えるよう「防災DXサービスマップ（初版）」として、2023年3月10日に公表。

防災DX官民共創協議会（2022.10～公募開始。295者が集結）

主な活動

2. 防災DXに係る技術動向と重点分野・普及方策等の検討

5. 防災分野のアプリやシステム等の調達適合性判断基準の枠組みの検討



(参考事例) 既に公開した防災DXサービスカタログの掲載事例

一般社団法人SmartSupplyVision

スマートサプライEC

サービスの詳細につきましては、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

※本ページの掲載内容につきましては、各事業者が責任を負うものとします。

トップ画面からクリックすると詳しい情報が参照できる。
自治体がサービスを導入するにあたって、参考となる情報（価格、無償トライアル、自治体導入実績、導入自治体名、問い合わせ先）が確認できる。

個別サービスの詳しい内容が分かる

価格
無償トライアルの有無
が分かる

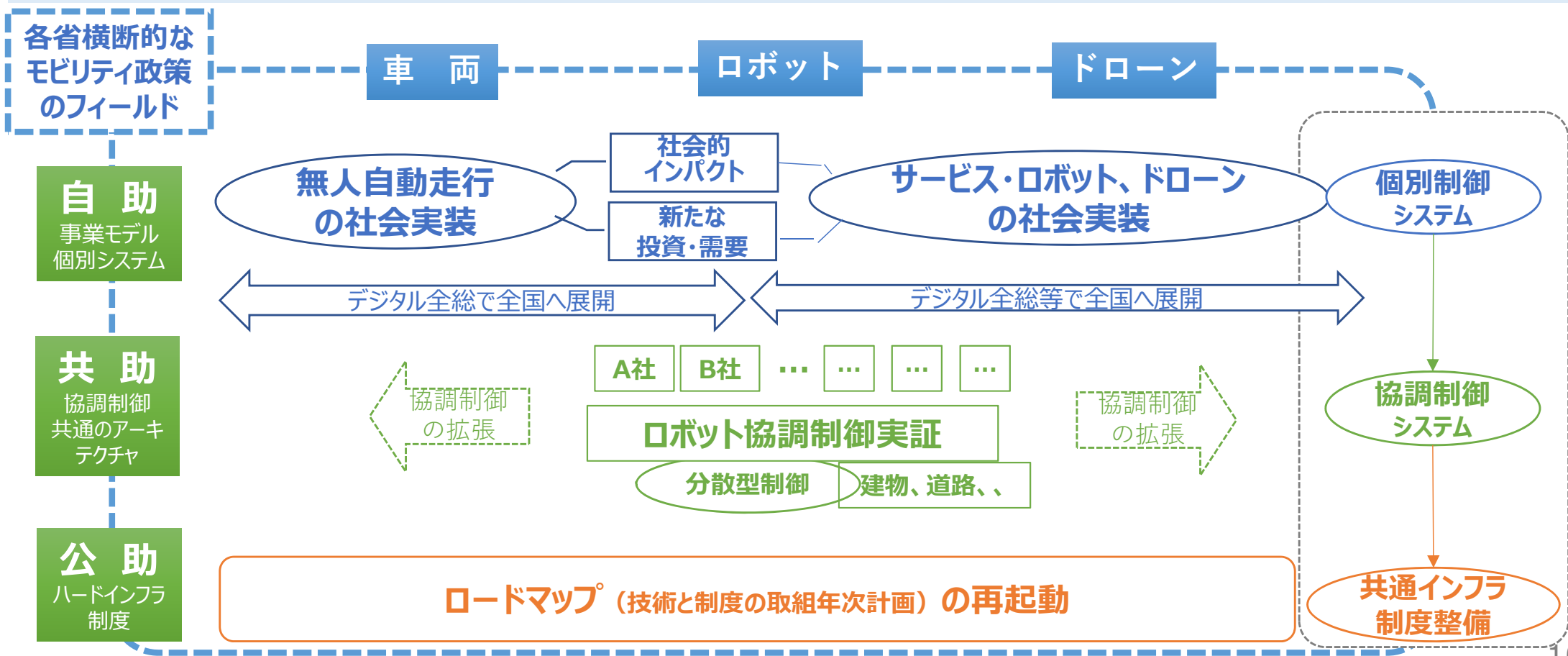
サービス紹介

サービス名	スマートサプライEC
防災局面	復旧・復興、平時、切迫時、応急対応（+72時間）
サービス分類（大）	物資支援、避難生活支援（避難所運営）、被害情報の収集・共有、災害対策本部運営
サービス分類（小）	区分なし
対応災害	風水、土砂、火山、火災、地震、津波、雪害、その他
サービス購入者	自治体、民間企業・団体
サービス概要	災害経験のない職員でも商品の画像や仕様を画面上で確認しながら、的確な物資の発注ができるオンライン発注サービスです。避難者の属性や、対策本部のニーズに合致した支援物資の商品と数量を、過去の災害知見データを基にご提案することが可能です。
サービスの特徴/優位性	オンライン発注サービスとして、過去の災害知見データから必要な物資を提案する「テンプレート機能」を備えています。そのため、混乱時に災害経験のない職員でも的確な物資の発注が可能です。リアルタイムに「発注～納品」までを一元管理できることが特徴です。
サービス紹介サイトURL	https://ec.smart-supply.org/ 
問い合わせ先	ec@smart-supply.org                                                            

デジタルライフライン全国総合整備計画について

デジタルライフライン全国総合整備計画の実現に向けて

- 自動走行車両、ロボット、ドローンは、地域の旅客・貨物需要などに合わせて自由に組み合わせる時代へ。
今後は、これらをトータルにモビリティとして捉え、移動需要に対する新たなモビリティ政策を検討していくことが必要。
- 自動走行等の全国展開に当たっては、単なる実証ではなく社会実装につながるよう、個別事業の持続可能性を担保するための要件（社会的インパクトや、新たな需要・投資の明確化、必要なKPI）を明確化することが必要。
- 異なる事業者が提供する車両やロボット、ドローンの間で、空間情報の共有、協調制御の実装など、地域の実情に合わせた運行管理・事業体制を検討していくことが必要。これらに必要となるハード・制度の整備も含め、官民ITS構想・ロードマップの名称を改め、「モビリティ・ロードマップ（仮称）」として再起動し、デジタル全総の実現をサポート。

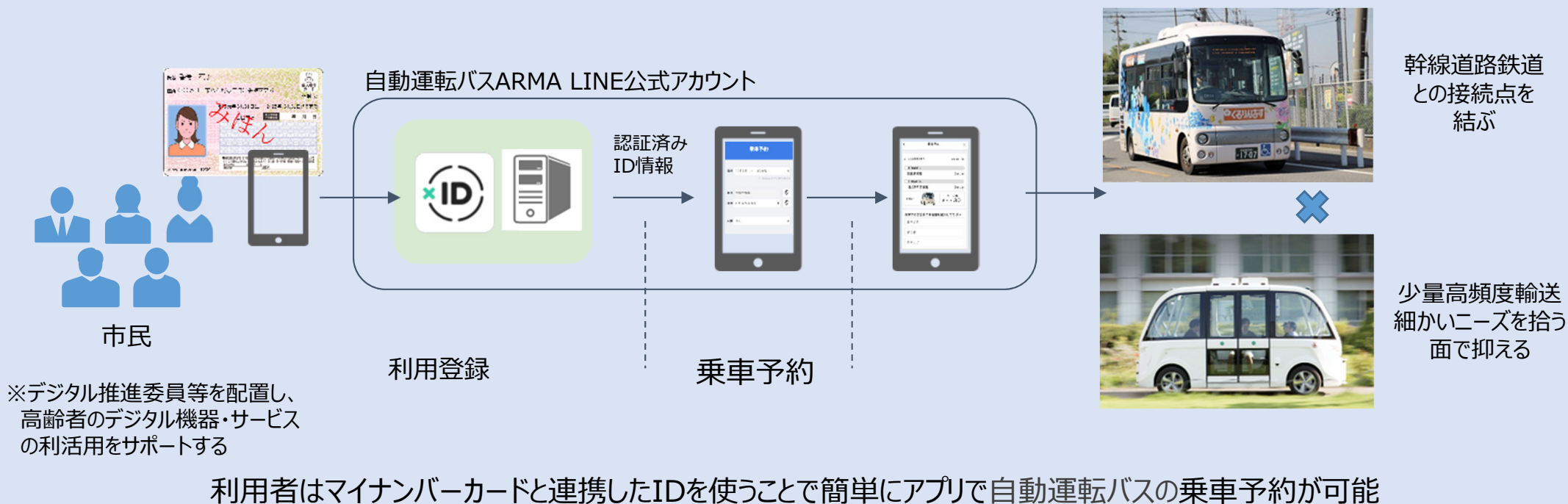


参考資料

～デジ田交付金により新たに生まれるマイナンバーカード利用ケース

公共交通－自動運転バス乗車予約サービス－

- 「マイナンバーカードと連携したID」と「アプリ」を活用し、スマホ1つで簡単・便利に自動運転バスの予約/乗車が可能なシステムを構築。また、マイナンバーカードと連携することにより、高齢者・障害者割引等のサービスも実現。

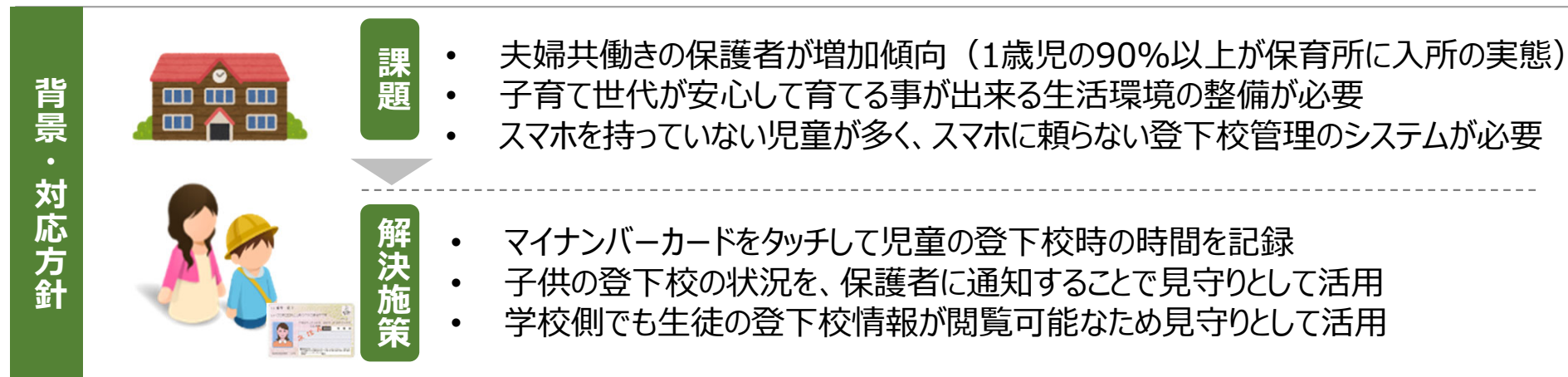


実現する姿

- ・マイナンバーカードと連携したIDにより本人認証をした上で乗車予約を行うことで、利用者に最適な情報や地域クーポンを配布。これにより、高齢者の外出機会を創出しフレイルを予防するなど、自動運転バスを起点とした政策実現を可能にする。
- ・マイナンバーカードと連携した本人認証により、市民割引や高齢者・障害者割引等の各種サービスを提供。

医療・健康・子育て－マイナンバーカードを利用した見守りサービス－

- 児童を事故・犯罪等の被害から守るため、マイナンバーカードをタッチして児童の登下校時の記録・共有、登下校の状況の保護者への通知可能なシステムを構築し、関係機関が連携・協力する見守りの仕組みを構築。



将来構想

登下校登録 マイナンバーカード

マイナンバーカードを
タッチして登下校を記録



登下校連絡

LINEと連携し
当日の登下校管理も簡単に
確認が可能



登下校状況の表示

スマホ、タブレット、PCから閲覧可能
スピーディに登下校状況を確認



出欠確認

登下校時間の通知から、
出欠確認へのバー
ジョンアップへ。

トーク画面にてチャットボットが
要件を確認
保護者は、クリック操作のみで
出欠連絡が可能

AIスピーカー連携

AIスピーカーが
連絡をお知らせ



通学バス連携

バス車内へ自動通知で
児童の安全管理を徹底



実現する姿

- ・ 地域防犯パトロール隊や関係機関との連携が可能（当日の児童の登下校状況の迅速な情報提供・把握が可能になる）
- ・ 親がバスに乗って通学する子供の登下校を確認可能

医療・健康・子育て－医療MaaS・母子健康アプリ－

- 医療MaaS（移動型セルフチェックサービス）や母子健康手帳アプリなどのサービスの本人認証にマイナンバーカードを活用し、個人に紐づくサービスの提供や医療情報のスムーズな連携による利便性向上を実現。

医療MaaS

- ✓ 医療MaaSの導入により、様々なセルフチェックサービス（例：目・腹部エコー・胃など）でマルチタスク車両を活用し、住民が自宅近辺や公民館、勤め先などで受診
- ✓ マイナンバーカードと連携したIDを活用し受診



実現する姿

- ✓ 基本健診のみ受診し、その後の検診が受けられていない住民の利便性向上
- ✓ 早期に検診することで、重症化を抑止し、将来的な医療費削減につながる

実施自治体：茨城県境町など

母子健康アプリ

- ✓ 乳幼児健診や予防接種などの情報をリアルタイムにデータ化し、本人同意のもと行政保健や地域医療機関と共有
- ✓ 保護者は過去の健診や接種記録を参照でき、個々人に適したサポートやフォローアップ情報を受けられる



実現する姿

- ✓ アプリの利用で、本人同意に基づき母子保健に必要な情報を正確に取得し、個人に適した子育てサービスを提供
- ✓ 電子カルテや自治体へのデータ共有もでき、デジタル化による事務作業の効率化も実現

実施自治体：北海道留寿都村など

市民ポータルサービス

- マイナンバーカードと連携した市民IDの発行による利用者の状況に応じた情報の発信を行うパーソナライズされた市民ポータルを構築。

共通ID

- ・1IDで全サービスを利用可能で、煩わしい複数ID/Passの管理が不要

ニュースフィード

- ・ユーザの属性に応じた“今欲しい情報”をお届け



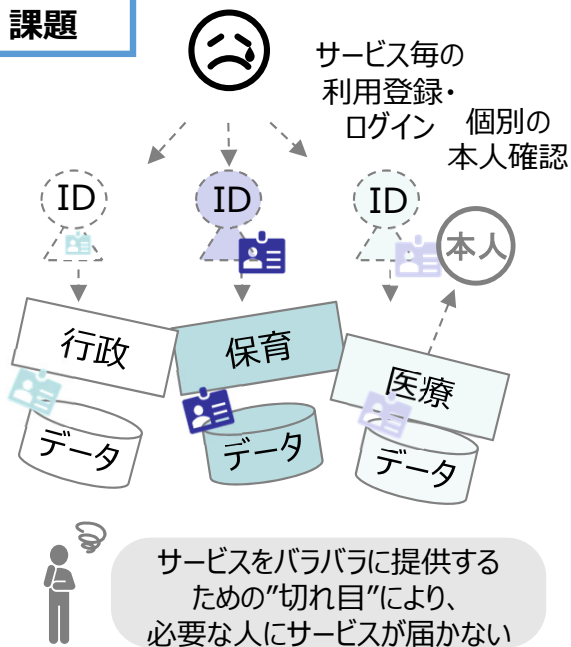
本人確認

- ・マイナンバーカードでの本人確認

パーソナライズ

- ・マイページで設定した居住地・通勤先・属性・興味等をもとにしたおすすめサービス・情報を表示

課題



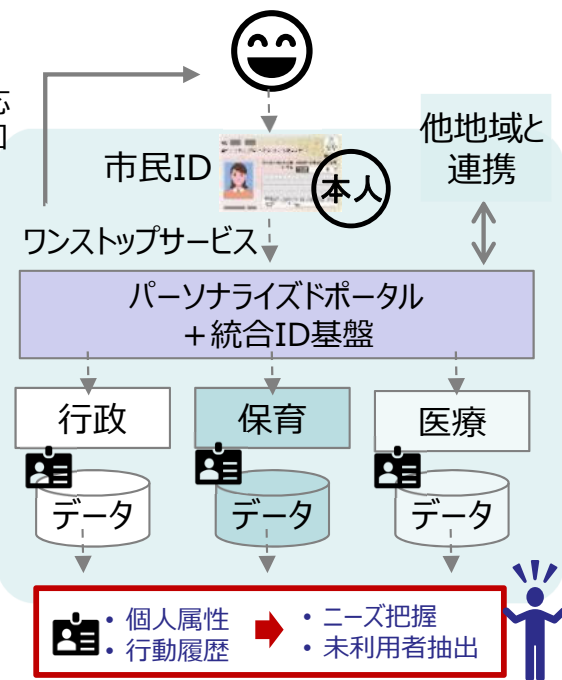
実現する姿

利用者の属性・利用状況に応じた適切な情報をプッシュ通知

一つの市民IDで、自治体・事業者が提供する様々なサービスをワンストップで利用可

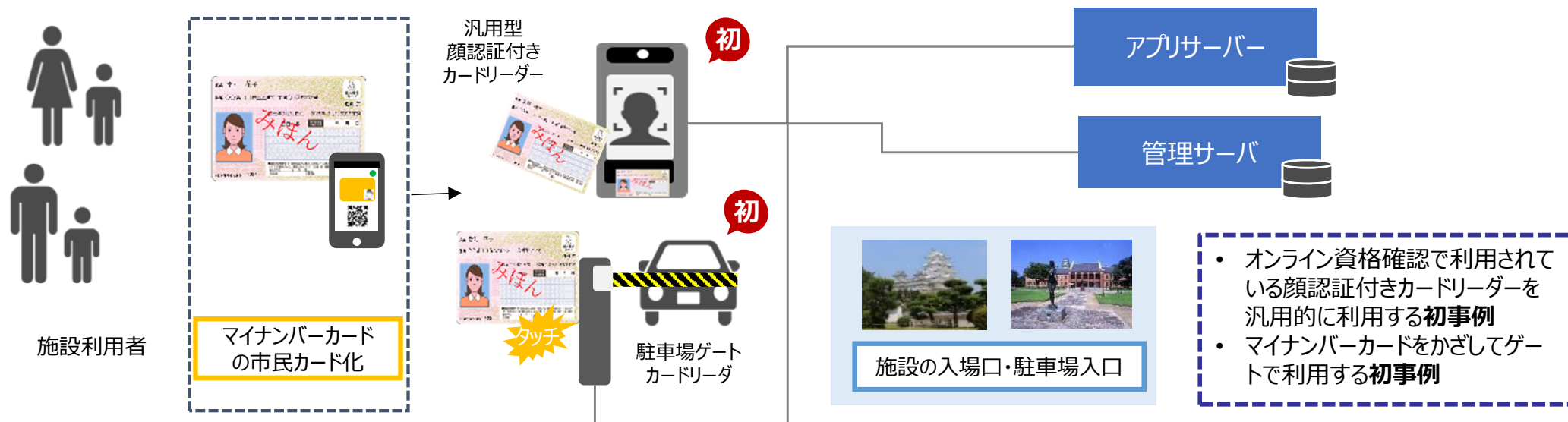
1度のユーザ登録・属性変更・本人確認。各サービスが連動し、利便性・利用率向上

住民の行動を分析し、ニーズに沿ったサービス提供・質の高いサービス改善



マイナンバーカードによる受付チェックイン・認証ゲート入場サービス

- これまでサービスごとに自治体が配布していたカードをマイナンバーカードに一元化することにより、マイナンバーカードをかざすことで、各種施設の受付チェックイン・認証ゲート入場の円滑化やイベント参加資格の確認等を容易に行うことが可能に。



課題

- ✓ 市が発行するカードをサービスごとに持ち歩く必要がある
- ✓ 目視で年齢等の優待資格を確認することは施設窓口の負担が大きい
- ✓ 一時的なイベントなどで、一部利用者への優先枠などを設定することが困難

実現する姿

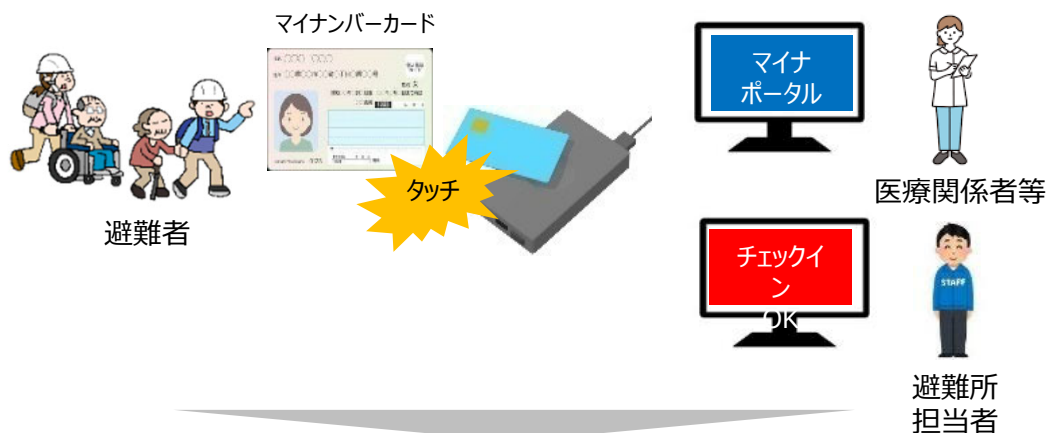
- ✓ 市内の子ども**約60,000人**に配布している施設無料入場カードを**マイナンバーカードに切り替え**
- ✓ マイナンバーカードで利用する場合、**事前登録なしに優待利用可能**
- ✓ **マイナンバーカードをカードリーダー(顔認証付き)にセットするだけで**、容易に優待資格(住所・年齢要件)の判定が可能に
- ✓ 施設の駐車場入場時に**マイナンバーカードをかざすことで登録者を判別**し、自動でのゲートの開閉が可能。

防災・避難所・選挙－災害時の避難所受付・選挙投票入場受付－

- マイナンバーカードを活用することで、**災害時避難所受付**や**投票所受付**時に個人を特定した**チェックイン**を実現。また、マイナポータルから医療情報などを取得することで、**避難所での生活をサポート**。

災害時避難所受付等

- ✓ 災害時において、マイナンバーカードを活用し、避難所における住民避難状況の管理やマイナポータルの閲覧により服薬中のお薬情報や通院履歴の確認等をサポート



実現する姿

- ✓ 職員による**避難所の入所手続き及び管理作業の低減化**
- ✓ 避難者チェックイン情報の本人同意による連携が可能
- ✓ **既存の防災情報システム**（避難所開設等情報）とも**連携が可能**

実施自治体：愛媛県新居浜市など

選挙投票入場受付等

- ✓ マイナンバーカードを活用することで、投票入場券を利用せずとも受付を可能とする
- ✓ 期日前投票所では宣誓書をシステムから出力することで、宣誓を手書きする必要がなくなる

宣誓書記載内容説明
住民の誘導
システムへの受付登録…



マイナンバーカードをかざして受付終了！

二重投票の防止！

実現する姿

- ✓ 当日投票所にマイナンバーカードによる名簿対照用端末を配置/運用することで、**選挙人の待ち時間の短縮と、名簿対照を担う従事職員の負担軽減**につながる
- ✓ システムをネットワークで結ぶことで、複数の期日前投票所での期日前投票の実施により、選挙人の利便性が向上

実施自治体：富山県立山町など

マイナンバーカードを活用した地域ポイントサービス

- 域内での購買活動やボランティア活動等にマイナンバーカードと連携した地域ポイントアプリでチェックインを行うことでポイントを付与し、個人の貢献を可視化する。ポイントをためることで、体験サービスやまちづくりへの参加、地域商店街での購買活動を促進することで地域活性化につなげる



課題

- ✓ 郊外型の大型店舗の立地やオンラインショッピングの進展、人口動態の変化などで減少傾向となり、賑わいが低迷し、空洞化が進んでいる。
- ✓ 有名な観光地と隣接するも、通過点として利用されることが多く、来訪客を呼び込む必要がある。

実現する姿

- ✓ 地域における活動と地域への愛着形成との域内好循環を構築。
- ✓ マイナンバーカードと連携したアプリの活用により、決済データ、購買・移動データなどを活用することで、住民や観光客の消費行動を活性化。

